

ふくしまっ子 体力向上総合プロジェクト

H29.6.16
第33号
福島県教育庁

小・中・高等学校体育担当者連絡協議会が行われました（その2）

前回に引き続き、小・中・高等学校体育担当者連絡協議会の模様をお伝えします。

【学校における体育活動中の事故防止】

サッカーゴール等の転倒防止、柔道における事故防止、水泳での飛び込みによる事故防止についてDVDを交えて紹介し、事故防止への理解を深めました。紹介したDVDは「日本スポーツ振興センター」で作成されたもので、各学校に配付されておりますが、HP、YouTubeでも視聴ができますので指導の参考にしてください。



健康教育課 QR

[日本スポーツ振興センターのURL <http://www.jpnsport.go.jp/>]

【これからの学校体育と体力・運動能力の向上について】

相双地区 鈴木 宏哉先生（順天堂大学）

それ以外 末永 祐介先生（東京女子体育大学）に講師をお願いしました。

○鈴木 宏哉先生

- ・運動習慣が体力を支えている
- ・運動習慣を支えているのが、「運動やスポーツ、体育の授業に対する意識」や「達成感や自己肯定感」などの心理的側面
- ・体力低下の問題は「運動しない子」の問題。二極化を解消しなくてはならない
- ・子どもたちを取り巻く様々な環境格差の是正に、学校での授業や体育的活動が大きく貢献している。

○末永 祐介先生

- ・「主体的・対話的で深い学び」を保証する学習過程を工夫していく必要がある。
- ・「主体的・対話的で深い学び」を通して、豊かなスポーツライフ（生涯体育）を実現するための資質・能力を育成していく。これが目的である。
- ・運動できる環境づくり（仕掛け）を通して、運動が苦手・嫌いな子どもたちにも運動の楽しさや面白さを味わわせていきたい。

【体力向上推進計画書の活用について】

小学校部会と中・高部会に分かれて、グループ別の協議を行いました。昨年度末に各校で作成した「体力向上推進計画書」の活用について情報交換しながら、自校に生かせる方策を探っていました。それぞれの部会から以下のような話題が出ました。

○小学校

- ・業間は自由に十分遊ぶ
- ・校庭に意図的に線を引くことが自由遊びには有効
- ・運動身体づくりプログラムの校内研修会を実施
- ・体を動かしたくなる工夫（的当て、ぶら下がる、ジャンプする等）をしている、など。

○中学校

- ・遊びの延長として様々な用具を使う
- ・昼休みにボール遊びを励行
- ・自分手帳を活用し、昨年度の自分と比較させ目標をもたせる
- ・家事の手伝いを励行し総運動時間を増やす、など。

○高校

- ・自分手帳を毎週水曜日に記入する
- ・長なわとびで運動量を確保
- ・音楽をかけスポーツクラブのようにランニングをする
- ・独自のサーキットトレーニングを導入
- ・複数の部活動で合同練習を行う、など